

Title	図書館の動き
Author(s)	
Citation	静脩 (1999), 35(3): 16-16
Issue Date	1999-02
URL	http://hdl.handle.net/2433/37519
Right	
Type	Article
Textversion	publisher

***** 図書館の動き *****

AV ホールの機器が一新されました

昨年11月、AV ホールにマルチメディア対応のシステムが整備されました。このシステムの導入により、全ての AV ソースがデジタル変換され、高解像度プロジェクターや ATM による受配信、SCS による遠隔テレビ会議ができるようになりました。

既に、Web Technology に関する国際会議はじめ講演会等に利用されています。利用に関するお問い合わせは、総務課庶務掛（2613）までどうぞ。

主な機器

- ビデオカメラ（3台）

- 全世界対応ビデオ装置
- スライドフィルムコンバータ
- デジタル書画カメラ
- S-XGA 対応高輝度・高解像度プロジェクター（2台）

車椅子対応の入退館装置が完成

以前より要望のあった「職員の介護なし図書館利用」を可能にするために、昨年10月に車椅子対応の入館ゲートを設置いたしました。

ゲートの間隔は1200mm で、フラPPER型両開き方式となり安全対策を重視した装置です。十分に車椅子での入退館が可能になりました。

***** 目 次 *****

Classics in the Libraries of Kyoto University	1
古代メソポタミアの粘土板	2
イギリスの図書館ネットワーク：英国図書館・イギリスの大学図書館訪問記①	4
経済学部図書室紹介—シリーズ京都大学図書室巡り	8
物理学教室図書室における図書貸出・返却新システムの稼働	10
外国語雑誌目次データベース (SwetScan) の提供を始めました—利用の手引きシリーズ	11
DigitalBook Creator の提供を始めました—利用の手引きシリーズ	12
附属図書館内設置端末機利用についてのお願い	14
教官寄贈図書一覧—平成9年度下半期末掲載分	15
図書館の動き	16
編集後記	16

編集後記

今回は、「静脩」に初めて英文記事を掲載します。海外図書館見学記・訪問記も前回に引き続き掲載しました。インターネットにより世界がますます身近になりました。

全学の事務機構改善の検討が開始されます。附属図書館も百周年を迎えます。新たな世紀に向け、図書館とは何かを足元から見つめ直し、合理化・省力化そして国際化を検討していかなければならないようです。(み)